

京都市城陽市

城陽市寺田東ノ口16・17
担当課: 福祉保健部福祉課
〒610-0195
☎0774-56-4030 FAX0774-56-3999
<http://www.city.joyo.kyoto.jp/>
Eメール: fukushi@city.joyo.kyoto.jp

本市のデータ

(1)面積 32.74km²

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	平23.10.1住基
14,690	84,346	81,636	79,508
65歳以上人口比率(17国調)			18.1%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	平23.10.1住基
2,926	28,333	29,051	30,142

(4)沿革

1951年(昭和26年)4月1日、久世郡久津川村、寺田村、富野荘村、綴喜郡青谷村の4村が合併して、久世郡城陽町が誕生する。
1972年(昭和47年)5月3日、市制施行。



本市の概要

城陽市は、京都市と奈良市を結ぶ国道24号が南北に横断し、両市のほぼ中間にあります。また、JR奈良線と近鉄京都線が南北に縦断しています。木津川の右岸に位置し、市南部を東西に青谷川が流れ、地勢は西部は概ね平坦で、東部に向かうにつれて起伏の多い地形になっています。昭和30年代前半までは、純農村として推移していましたが、40年代に入ると京都・大阪のベッドタウンとして急速に宅地開発が進みました。市の特産物は、花ショウブ、サツマイモ、梅、ラッキョウ、イチジクなどがあります。また、伝統の金銀糸の生産高では、日本国内の60%以上を占めています。木津川の清らかな流れや東部丘陵地の緑豊かな自然環境に恵まれ、正道官衙遺跡(国の史跡)や古墳、由緒ある久世神社、水度神社(いずれも本殿は国の重要文化財)などの歴史的建築物があります。また、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に加盟する京都サンガF.C.の練習場であるサンガタウン城陽が置かれ、2010年8月からは京都サンガF.C.のホームタウンの一つとなりました。春には青谷梅林の“梅まつり”、初夏には“花しょうぶまつり”、秋には“いも掘り”、冬には“光のページェント”が催され、四季折々にさまざまなイベントが楽しめます。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

市民が、住みなれた地域で安心して、いきいきと暮らせる社会を実現するため、「みんなて築く福祉のまち」、「健やかな心身を育み、豊かな文化を創造するまち」をめざし、心がふれあうまちづくりを進めています。
多重債務解決支援の相談窓口の開設、自殺予防対策の電話・来所相談窓口の開設、こころの不安解消などの夜間生活相談電話の窓口を開設するなど、少しずつではありますが、施策を進めています。

<具体的な取組み>

■城陽市の自殺対策事業について

1. 城陽市における自殺予防対策支援事業

- ・平成22年4月事業開始
- ・特定非営利活動法人に委託
- ・事業内容:
 - ①啓発等事業…シンポジウムの開催(計3回)
 - ②グリーンコール(電話相談、毎週月曜日午後5:00~8:00)
 - ③来所相談
 - ④警察署等との連携

2. トワイライトコール事業

- ・平成22年9月事業開始
- ・特定非営利活動法人に委託(山城北圏域実施実績事業所として)
- ・事業内容:
 - ①電話相談…毎週金曜日午後5:00~8:00

3. 多重債務解決支援事業

- ・平成21年4月事業開始
- ・内容:
 - ①週3日多重債務解決支援員として嘱託職員を雇用
 - ②京都司法書士会と契約して、市役所内での相談実施と解決方法について計画
 - ③多重債務についての窓口を一本化(市民活動支援課、商工観光課、税務課等と連携)
 - ④税金滞納の解消、生活防衛支援、自殺予防対策として開始